

# Q. 小中学校の改修について



おおぐち しろう

大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

## A. 長寿命化計画に取り組んで行く

- Q** 小学校トイレ改修の進捗は適正であるか。  
施設老朽化による喫緊の課題はこれで解決するのか。
- A** 教育委員会事務局長  
小学校のトイレ改修は長年にわたる懸案事項で、現在豊山小学校で改修工事を進めている。他2校についても同様に施設整備を進める。  
中学校のあり方の提言により3つの小学校の整備方針の変更はない。
- Q** 学校整備「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」が進まない。補助事業の陳情や要望活動はどのように行っているか。また、他に理由があるのか。
- A** 教育委員会事務局長  
国の補助金を活用して普通教室、特別教室の空調整備やタブレット端末の整備をし、学習環境は大きく改善された。県教育委員会に対しても要望活動を行っている。  
今後一層、国や県に対して要望などを続けていく。
- Q** 令和4年度に新栄小学校の実施設設計を前倒し実施し、令和5年度は改修工事、同時に志水小学校の実施設設計を行い令和6年度に志水小学校の改修工事を実施すれば、3力年程度でトイレ改修工事を完結できると考えるかいか。
- A** 教育委員会事務局長  
豊山小学校は、令和3年度に実施設計、令和4年度に改修工事を実施している。他の2校についても、できる限り速やかにトイレの改修工事を実施できるように検討する。
- Q** 現在、小中学校の体育館・講堂は「指定避難所」に指定されているか。
- A** 企画調整部長  
豊山町地域防災計画により、町の指定避難所として定めている。
- Q** 災害時における小中学校の体育館・講堂における役割・機能・設備などに関するの見解は。
- A** 企画調整部長  
公共施設のうち、13力所を指定避難所に指定しており、開設については、災害の大きさや種類に応じて行っている。  
小中学校は、広くまとまった避難スペースを有しており、多数の避難者が発生する場合の避難所として位置づけている。  
施設の安全性や生活環境の確保、要配慮者への対応など整備を進めている。
- Q** 経産省の「災害に備えた社会的な燃料備蓄の推進事業費補助金」は、LPGガスをエネルギー源とすると発電や炊きなど複合的に対応できる。
- A** 企画調整部長  
また、分散型エネルギーであるLPGガスであれば、災害時の空調や発電に対応できる。事業計画は、トイレ改修と同様のペースで実施すれば令和9年度から10年度までに工事が完結する。
- Q** 以上のように考えるかいか。
- A** 教育委員会事務局長  
近年の気象状況や避難所としての役割などを踏まえる、体育館の改築の際には空調整備を検討課題とする。

